

2023年度 新規採用者は378人

医療法人鉄蕉会では、2023年4月新たに378人の新入職員を迎えました。

今年は4年ぶりに入職式も執り行われ、亀田隆明理事長や亀田俊明亀田総合病院長が医療人として、亀田の職員としての心構えなど、訓示を行いました。

新入職員の内訳は以下のとおり

《鴨川事業所》371人

・医師94人(初期研修医24人、歯科研修医7人含む)

・看護師176人・医療技術73人・事務労務28人

《その他事業所》7人



亀田クリニック休診中の5月3日(水)・4日(木)・5日(金)の3日間、救命救急センター内に歯科医師が常駐して急な口腔トラブルでお困りの患者さまに対応します。夜間も、同様に対応しますが、根治的な処置は行わず、応急処置のみとなります。

休日や夜間に急な歯痛や腫れなど口腔内のトラブルでお困りの際は、まず電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 04-7092-2211

コロナ「5類」移行後 医療費自己負担が変わります

5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行することに伴い、原則公費負担が終了し、通常の保険診療となります。

発熱外来

これまで新型コロナウイルスの検査や陽性確定後の診療費については自己負担が発生しませんでした。が、「5類」移行後は**通常の外来診療と同様に1～3割の自己負担が発生します**。ただし、特定の高額な治療薬を除く措置が設けられます。

負担の増加を避けるための措置はそれぞれ9月末まで継続し、その後、感染状況などを踏まえ、延長するかどうか政府が検討する予定です。

入院

新型コロナウイルス感染症治療薬は引き続き公費でまかなわれますが、**入院費は原則として自己負担となります**。ただし、月に最大2万円を軽減する措置が設けられます。

オンライン診療

コロナ「5類」移行に伴い、感染拡大防止策のひとつとして行っていた、電話や情報通信機器を用いた診療(いわゆる電話によるオンライン診療)は、**4月末で終了とさせていただきます**。ほかに、インターネットでSmartCureを使ったオンライン診療は5月からすべて**自費診療**となります。

パーキング棟改修工事のお知らせ



亀田クリニック隣パーキング棟では、7月中旬までの予定で屋上および外壁の改修工事を行っています。

工事は外来受診等でご利用になる皆さまへの影響を考慮し、日曜・祝日を中心に予定を組んでいますが、一部車両交通規制や駐車禁止スペースが発生します。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。





第8話 血液透析

皆様こんにちは。腎臓高血圧内科の川地惇朗と申します。今回は腎不全の患者さまに対する腎代替療法の一つ、血液透析についてご紹介したいと思います。

腎不全とは？

腎臓にはいろいろな機能があります。私たちは当たり前のようにトイレにいて用を足しますが、その裏には24時間、年中無休で働いている「腎臓」がいるのです。

「不要な水分やミネラル、毒素などを尿の中に排出する」といった腎臓の代表的な機能がなくなってしまった場合どうなるのでしょうか。

腎不全の症状としては、体のむくみ、食欲がない、倦怠感などの症状が出てくる場合があります。時にはカリウムといわれるミネラルが体に溜まり、心臓が止まってしまうような怖い不整脈を起こすこともあります。これらは腎不全が末期に近づかなければなかなか出てきません。



腎不全があるとCr（クレアチニン）という筋肉からできる老廃物が体内に溜まってきます。このCrと年齢から計算した指標としてeGFRという数値があります。簡単に説明すると、eGFRは腎臓がどれくらい濾過できているかを表す指標であり、100点滴の数値です。これが15を下回ってくると、一番進行したステージ5の腎不全です。

血液透析

腎不全に伴う症状や検査値の異常が出てきた場合、

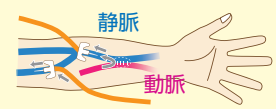
利尿薬やカリウムを下げるお薬を使うことがあります。それでもなお改善しない場合には腎臓の代わりになる治療を考えなければいけません。

私たちは「腎代替療法」という言い方をしますが、この中には、血液透析、腹膜透析、腎移植という3つの方法が含まれています。現在、腎代替療法として最も普及しているものが「血液透析」です。

血液透析では、血管に針を2か所刺して、1か所から血液を取り出し、ダイアライザーといわれる機械を通して不要な成分や水分を除去して、もう1か所から体内に戻す作業を行います。

血液透析では1分間に200ccもの大量の血液を取り出す必要がありますので、普通の採血や点滴を行う血管では十分な血液を取り出すことができません。そのため「シャント」といわれる血管をつなぎ合わせる手術が必要になります。

シャントのしくみ



採血や点滴で針を刺しているのは、体の表面にある静脈といわれる血管ですが、手首の親指側にある、指で触れるとドクドクと脈打つ血管を動脈といいます。静脈と動脈をつなぎあわせると、動脈からたくさんの血液が静脈に流れ込み、体の表面の静脈が太く発達してくることで血液透析に使用できるようになります。

血液透析は週3回(月水金、あるいは火木土)、1回4時間ほどかけて行うことが一般的です。もちろん残った腎臓の機能や、その患者さまの体格などに応じて適宜調整することもあります。

たくさんの血液を、時間をかけてキレイにしても、残念ながら年中無休の腎臓の完全な代わりになることはできませんので、食事や水分などの管理が重要となってきます。

私たち腎臓内科医は慢性腎臓病の管理を行いつつ、腎代替療法が必要になった場合には適切に移行できるようにサポートいたしますので、何か気になることがありましたら腎臓高血圧内科外来までお越しください。



介護職員初任者研修のご案内

地域で活躍する介護職員の養成をめざし、「介護職員初任者研修」を開催いたします。研修期間は5月30(火)～9月7日(木)の間の24日間(133時間)で、受講料は55,000円(テキスト代含む)。研修への参加を希望される方は、郵送にて履歴書と返信用封筒を5月6日(土)までに送付願います。(書類/面接審査あり)

詳しくはホームページをご覧ください➡



【申し込み・問い合わせ先】
〒296-8602 千葉県鴨川市東町 929
亀田総合病院 継続学習センター
TEL:04-7099-1165
(月～土 9:00～17:00 対応)

